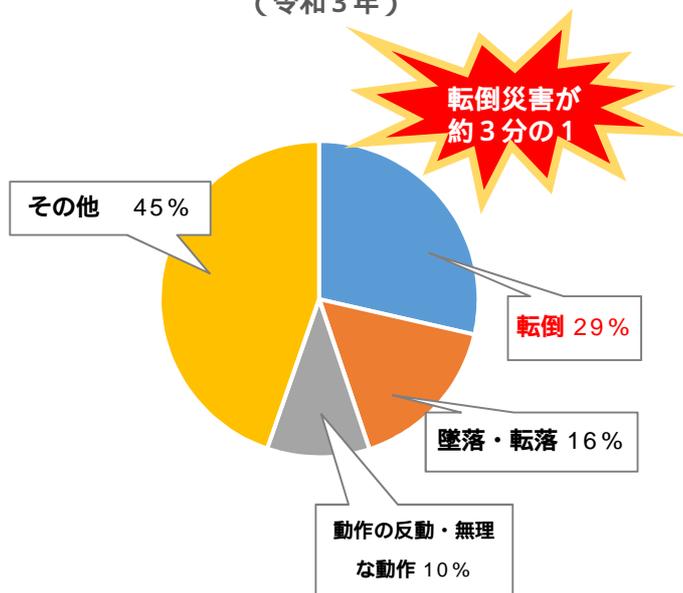


STOP! 冬の転倒災害

- ▶ 鳥取県内における労働災害の約3分の1が転倒災害
- ▶ 転倒災害のうち60才以上の割合は約5割
- ▶ 転倒災害のうち休業日数30日以上は約6割
- ▶ 冬期（積雪、凍結時）の転倒災害が多い

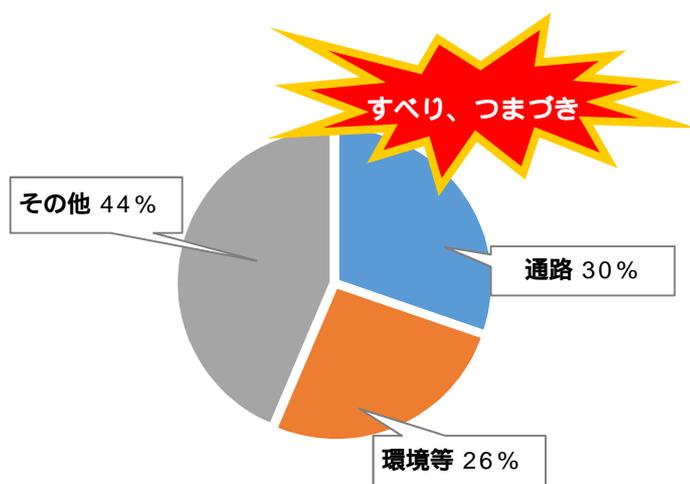
鳥取県内の事故の型別労働災害発生状況

(令和3年)



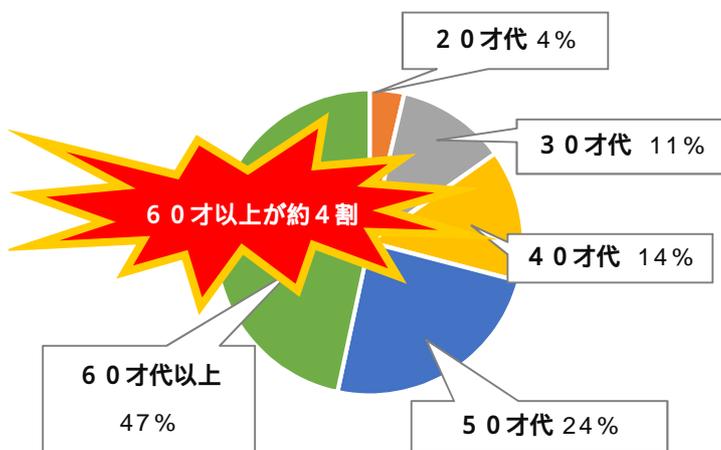
鳥取県内の転倒災害に占める起因物の割合

(令和3年)



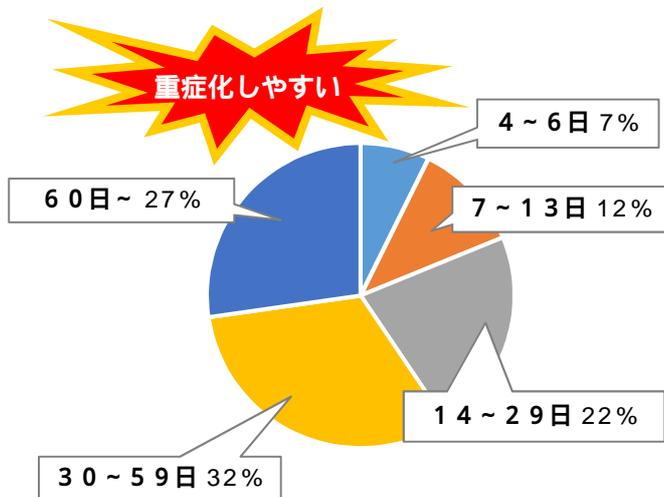
鳥取県内の転倒災害の年代別労働災害発生状況

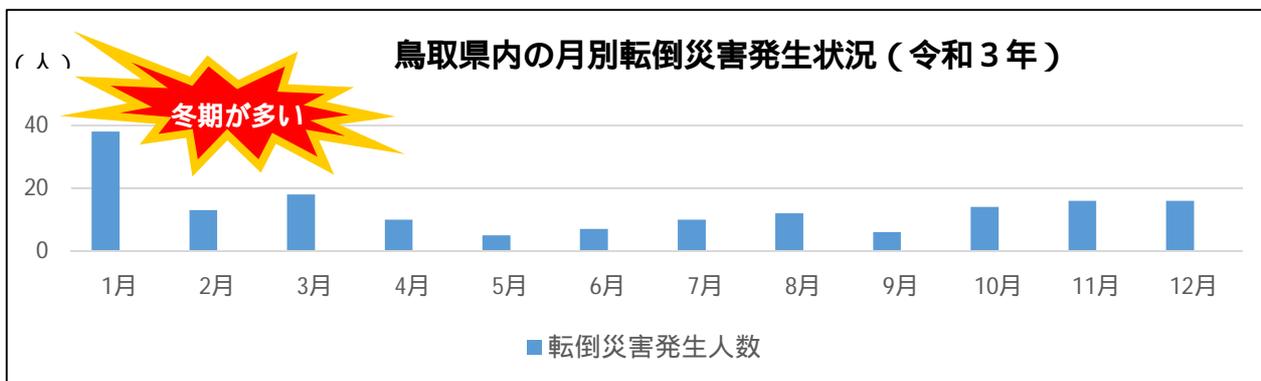
(令和3年)



鳥取県内の転倒災害における休業日数別労働

災害発生状況 (令和3年)





転倒災害事例

- ・ 駐車場から事務所へ行く途中、凍結していた路面で滑り、胸部を強打（畜産・水産業、60代男性、10日休業）
- ・ 作業場内でかごを持ち運搬中、足元にあった台につまづき右膝から転倒（農林業、40代女性、15ヶ月休業）
- ・ 乗務のため、事務所からバスへ歩いて向かう途中、積雪のある地面で転倒し胸部を骨折（運輸交通業、50代男性、1ヶ月休業）

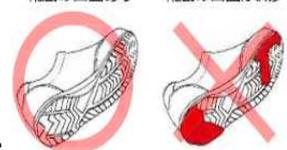
冬期の転倒災害防止のポイント

冬期は、降雪、凍結した通路などで転倒し、負傷する労働災害が多く発生していますので、下記の対策を講じて下さい。

通路などでの対策

- ・ 降雪した通路は、除雪し、凍結した通路などは融雪剤などを散布し、安全通路の確保を行うこと。
- ・ 滑りにくい靴を使用させること。
- ・ あせることなく急がず、ゆっくりと小さい歩幅で、靴の裏全体をつけて歩行すること。
- ・ 服のポケットなどに手を入れ、両手に物を持ち歩行しないこと。
- ・ 会社内敷地、駐車場などで過去滑った場所、ヒヤリハット情報で得た場所などの職場の「危険マップ」を作成し、労働者に周知すること。

靴底の凹凸あり 靴底の凹凸が減少



気象状況の把握など

- ・ 気象情報（積雪、凍結など）を把握し、早めに労働者に周知し、対策を講じること。
- ・ 天候が悪化し、交通機関に遅れなど予想される場合、休日、勤務時間、出張などの変更を検討すること。
- ・ 警報、注意報などでの対応マニュアルを作成し、会社内で周知すること。



高齢労働者における転倒防止対策

- ・ 身体機能の低下を補填する設備（明るさの確保、滑り止めの設置など）の対策を講じること。
- ・ 柔軟性、筋力を高めるストレッチ、運動などを取入れ基礎的な体力、生活習慣の改善に取り組むこと。



すべりやすい箇所、段差の箇所などに下記の標識を参考とし、「安全見える化」を行って下さい。



凍結注意



段差注意



雪道すべり注意



ながらスマホ禁止



傾斜注意



ふみはずし注意



水分・油分注意



あせり・急ぎ注意



ポケットに手を入れて歩く禁止

自主点検を行いましょ

転倒災害防止のため、下記のチェックリストをチェックし、改善内容があれば早急に改善し、労働災害防止に努めましょ。

チェック項目

1	積雪、凍結時に転倒のおそれのある場所を認識していますか？	<input type="checkbox"/>
2	除雪用具、融雪剤、転倒防止用マットなど準備していますか？	<input type="checkbox"/>
3	滑りやすい場所などを危険場所として「安全見える化」していますか？	<input type="checkbox"/>
4	ヒヤリハット情報を活用して、危険マップを作成し、周知していますか？	<input type="checkbox"/>
5	「ながら歩き」、ポケットに手を入れたまま歩くなどを禁止していますか？	<input type="checkbox"/>
6	滑りにくい靴や手袋の着用を推奨していますか？	<input type="checkbox"/>
7	降雪、凍結前に、転倒を防止するための教育等を実施していますか？	<input type="checkbox"/>
8	降雪、気温に関する気象情報を把握し、注意喚起を行う体制を確保していますか？	<input type="checkbox"/>
9	安全に移動できるように十分な照度を確保していますか？	<input type="checkbox"/>
10	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか？	<input type="checkbox"/>
11	時間に余裕をもって歩行、作業を行っていますか？	<input type="checkbox"/>
12	駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などにも注意していますか？	<input type="checkbox"/>